

見守りネットワーク事業「住民支え合いマップづくり」

中学校体育館において
村内一斉に開催

約209名の参加!!

本事業は、榛東村地域福祉活動計画に記載されている「地域における要援護者情報の把握と共有」に基づき、災害時等において支援を必要とする方・世帯（避難行動要支援者）を地域全体で見守るネットワーク構築のため地域支援関係者が一堂に会し地域の詳細情報を住宅地図に示し、避難行動要支援者を中心とした総合的な支援体制のマップづくりを実施し、地域住民による顔の見える関係づくり（地域力の向上）避難行動要支援者等の福祉ニーズ把握を目的としています。



また、児童及び生徒の安心安全を視野に学校関係者にも周知し、危険箇所や大雪時の通学路確保についても協議していただきました。

マップづくりは、防災だけが目的ではなく地域の関係づくりのツールとして活用していただくものです。最後に平成30年度の事業目標を話し合い発表していただきました。多くの地区が前回に引き続き高齢者世帯と通学路の除雪、声掛けを目標に掲げました。



榛東村は豪雪地帯に指定されています

豪雪地帯とは、冬に大量の積雪がある地域のことで、法律上は豪雪地帯対策特別措置法に基づき指定された地域を指します。

安全な除雪活動を・・・

日頃の備えや積雪時の除雪におけるポイントなどを明記した『雪が降る前に「雪を知り、備え」～みんなで安全な除雪～』というパンフレットを作成、2月に毎戸配布し、安全な除雪活動への啓発を行っています。

マップづくり及び除雪安全パンフレット作成は、国土交通省国土政策局の「平成29年度雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査業務」の助成を受けて行いました。

